

第18回南那須支部消防操法大会

藤田の消防団が県大会へ出場

18回目となる栃木県消防協会南那須支部消防操法大会が、6月26日(日)、那須烏山消防署で開かれました。本市からは、ポンプ車操法の部で第5分団1部(藤田)が優勝し、7月30日(土)に開かれる県大会への出場権を勝ち取りました。

この大会は、消防機器の取り扱いや日頃の練習の成果を発表することで、消防技術の向上と団員の意識を高めるために隔年で開催しているものです。南那須支部では、2部門に本市と那珂川町から8チームが出場し、

技術を競い合いました。

会場では、地域住民や両市町の消防団員が応援に駆けつけ、緊張感が漂う中、大会が行われました。

なお、支部大会に先立ち、5月29日(日)、大桶運動公園で那須烏山市消防操法大会が開かれました。結果は、ポンプ車操法の部で第4分団1部(興野)が優勝、第5分団1部(藤田)が準優勝。小型ポンプ操法の部で第4分団3部(中山・平野・八ヶ平)が優勝、第5分団3部(下川井)が準優勝でした。



ポンプ車に乗り込む団員たち。



小型ポンプ操法。



大桶運動公園で行われた市操法大会。



優勝した藤田のポンプ車操法。

この時期に多発する水難事故に備えて 消防と警察が水難救助訓練

南那須地区広域行政事務組合消防本部と那須烏山・那珂川警察署は合同による水難救助訓練を、5月27日(日)、野上の那珂川で行われ、消防隊員や両署員など約40人が参加しました。

これは、梅雨や台風に伴う河川の増水など出水期を迎えるにあたり、地域住民の安心・安全を守るため、消防と警察が連携して迅速に救助活動を行えるように毎年この時期に行っている訓練です。

当日は、梅雨前線の影響で栃木県北部を中心とした集中豪雨により河川水位が急速に上昇し、中州に取り残された4人を救出することを想定。通報を受け、消防・警察救助艇の出動や消防防災ヘリコプター「おおるり」の緊急要請を行い、無事4人を救出しました。

西宮一美消防長は、「近年那珂川でも水難事故が続いているので地域住民も十分注意して欲しい。また、消防や警察が連携して救助に当たれるよう十分に訓練していきたい」と話していました。



上:消防防災ヘリコプター「おおるり」での救助。
下:中州に取り残された人を救出に向かう救助艇。

災害意識の向上 上境と城東で非常時に備えた訓練

上境自治会では、土砂災害に
対する避難体制の強化を図るた
め、6月12日(日)、境公民館で初
めて避難訓練を開き、住民171



上:消防車の設備を見学する住民たち(上境)。
下:住民へ樋門の操作が説明される(城東)。

人が参加しました。
当日は、住民一人ひとりが避
難経路を再度確認したほか、煙
体験を行いました。また、地元消



防団による情報伝達訓練なども行
われました。

6月25日(土)には、城東自治会で
防災施設研修会が行われ、住民20
人が、城東地区那珂川堤防の樋門
と滝田地区分水工などを見学しま
した。

これは、水が乗りやすい城東地
域で、樋門の操作方法などを学び、
水害に備えようと昨年から行われ
ているものです。

見学地では、市職員から樋門の
開閉や配水ポンプの使用方法、操
作などが説明され、多くの地域住
民が理解を深めました。

地域防災力の向上目指して 消防団員5人が防災士資格を取得

平成27年度中に、消防団員5人
が現職の消防団員としては市で初
めて防災士の資格を取得しました。

防災士とは、NPO法人日本防
災士機構が認定する民間資格です。
防災士認定者数は、平成28年4月
現在までに全国で11万913人。

今回、本市では、団長の興野一美さ
ん、副団長の渡邊兼一さん・小鍋孝
志さん・宇井良介さん、第6分団分
団長の岡則男さんが取得しました。
防災士は、日頃から防災や減災

の啓発活動に努め、地域の防災
ネットワークを広げて強化してい
く役割を担います。防災時にはそ
の知識・技能を発揮しながら地域、
職場の人たちと協力し、近隣住民
の救出や救援に当たるなど地域防
災力向上を率先して行うことが期
待されます。

今後、市では防災や減災活動の
リーダーを増やすためにも現職の
消防団本部役員の資格取得を推進
していきます。



防災士の資格を取得した消防団員。

熊本県南阿蘇村に 市職員を派遣

市では、全国市長会からの
派遣要請を受け、6月1日(火)
から19日(日)にかけて、熊本地
震で被災した南阿蘇村に、職
員2人を派遣しました。

この派遣は、窓口業務をは
じめとする市役所等の行政機
能の回復・維持や、応急危険度
判定、避難所の運営、救援物資
の仕分け等要員の確保をする
ために、短期的に行っている
ものです。

今回、派遣された職員2人
は、り災証明書の発行や家屋
被害認定調査の説明業務など
に従事しました。

なお、現地の様子を伺いま
したので紹介します。

■生涯学習課 中山崇主査

現地は、1階や2階そのものが潰れ
てしまっている家屋や土地が崩れて家
屋がコロンと転がっているところも
あった。住居の調査申請受付では、担当
した二次調査で3000弱の待ちがあり、
あと2・3ヶ月は調査に時間がかかる
のではないかと感じる。今後は、支援の申
請に時間と人出が必要になってくるだ
ろう。8泊9日という短い期間では
あったが、とても貴重な経験を積むこ
とが出来たと思う。

■まちづくり課 高瀬浩明主査

南阿蘇村の被害は甚大なものだった
が、業務については東日本大震災の経
験をそのまま生かすことができた。熊
本県内におけるり災証明書発行の遅れ
がマスコミで取り上げられましたが、
調査をする職員の人選や実施方法など
の調査体制について、南阿蘇村で得た
知識・経験を那須烏山市にフィード
バックさせていきたい。



り災証明書の受付をする職員。

7月
22日(金)
～24日(日)

山あげ祭が本番間近！



縄文土器の展示会を開催

市では、6月3日(金)から16日(木)にかけて、南那須図書館で「縄文土器の世界」市内に残る縄文中期の遺跡展」を開きました。

展示スペースには、曲畑遺跡、新道平遺跡、三ツ木西和久遺跡などの発掘調査により出土した縄文中期の土器約30点、土製やヒスイ製の装飾品約20点などが展示され、図書館利用者の目を楽しませました。



和紙葉書づくりを体験する参加者。

市国際交流協会 日本の文化を紹介

これは、市内に在住・在勤する外国人との交流を深め、日本文化を紹介するために、初めて開かれたものです。

当日は、地域住民や外国人27人が参加し、和紙の里での和紙葉書づくりや古民家おきすでオリジナルの苔玉づくりを体験しました。外国人たちは、初めての体験に興味津々の様子。先生の説明に熱心に耳を傾けながら懸命に作品づくりに取り組みました。1日をとおりして日本の文化を満喫できたようです。

シリーズ 市の文化財 第63回



市指定(有形民俗)
阿弥陀堂千体仏(滝)

太平寺に所蔵される千体仏は、約700体が現存しています。像高が20cm前後の小像で、全て地藏菩薩が刻まれています。若林家文書によると、元文2年(1737)9月、佐久山領柏崎村の宗伯という人物が、千体仏を彫像したので滝の太平寺に安置したいとの願文を烏山藩に提出し、翌月に許可されたとあります。

千体仏信仰は、江戸時代に広く庶民に普及しますが、実際に千体の仏像を刻んで奉納した信仰心には驚かされます。作者や制作年代、奉納由来などが具体的に分かる仏像として貴重です。

鴻野山の吉澤時明さん 採集した化石を記録した本を出版・寄贈

県立博物館ボランティアの吉澤時明さん(鴻野山)が、市内を流れる荒川と荒川支流の転石から採集したクジラ類などの化石を記録した「海生哺乳類化石採集記録」を自費出版し、6月6日(月)に市役所烏山庁舎を訪れ、26冊を市に寄贈しました。

吉澤さんは、約20年前から専門家の指導を受け、考古学愛好者として県東部などで化石や縄文土器などを採集。これまで約1万6千個を発見し、自宅の資料館で保存・展示しています。

また、その一部が現在、イタリミア・ミラノ市の大展覧会でも展示されています。

平成29年度までに市で正会員加盟を目指す日本ジオパークに対し、「この記録がジオパークの広報活動の役に立てば」と話す吉澤さん。那須烏山ジオパーク構想推進協議会の一員としても活動されています。

市では、市内の小・中学校のほか、烏山高校、市立図書館などへ配布しました。



大谷市長に本を手渡す吉澤さん(右)。



山あげ祭が、7月22日(金)から24日(日)の3日間にわたって行われます。

今年の当番町「金井町」若衆による準備も最終段階に入り、6月19日(日)には金井にある屋台小屋から山あげ会館へと分解された大屋台の部品を運び出し、組み直しを行いました。また、7月1日(金)には奉告祭、3日(日)には、大勢の関係者などが見守る中、リハーサルを終え、準備万端です。

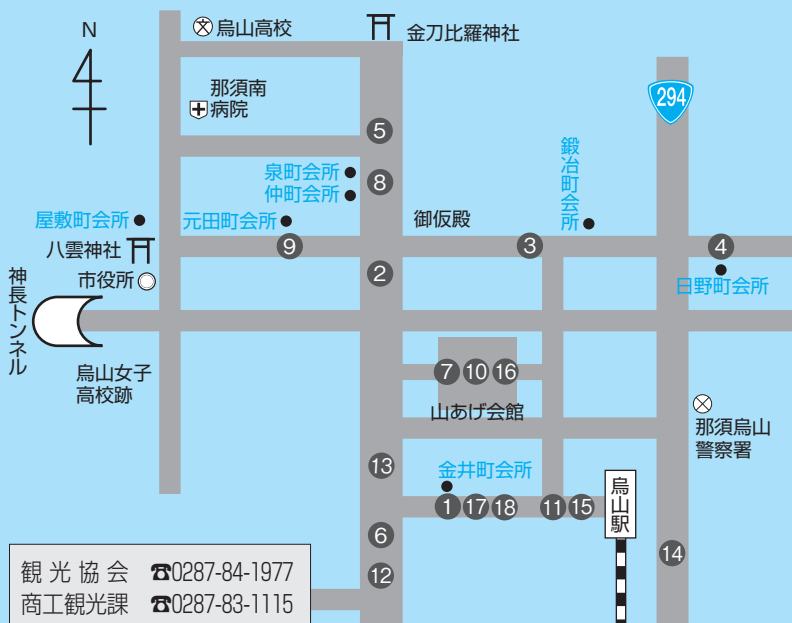
一方で、山あげ保存会芸能部会の出演者たちも踊りと常磐津の合同練習を行うなど、本番に向けての最終調整に入っています。

山あげ祭奉納余興開演予定時刻及び場所

順	日	開演予定時刻	芸 題	場 所	山の向き
①	21	午後7時00分	三番叟・将 門	金井町 会所前	東
②	22	午前9時30分	将 門	仲町十文字 御仮殿前	北
③		正午	将 門	鍛冶町 佐野医院前	東
④		午後2時30分	将 門	日野町 会所前	西
⑤		午後5時	将 門	泉町 石原食肉店前	南
⑥		午後7時30分	蛇姫様	金井町 神山商店前	北
⑦		午後9時30分	蛇姫様		山あげ会館前 東
⑧	23	午前9時30分	将 門	仲町 会所前	南
⑨		正午	将 門	元田町 会所前	西
⑩		午後2時30分	将 門		山あげ会館前 東
⑪		午後5時00分	戻 橋	金井町 JR烏山駅前	東
⑫		午後7時00分	戻 橋	金井町 石井材木店前	北
⑬	24	午後9時00分	戻 橋	金井町 オオイセや前	北
⑭		午前10時00分	蛇姫様	金井町 佐藤たばこ店前	北
⑮		午後1時30分	蛇姫様	金井町 JR烏山駅前	東
⑯		午後7時00分	将 門		山あげ会館前 東
⑰		午後9時00分	将 門	金井町 会所前	東
⑱		午後10時00分	関の扉・千秋楽	金井町 会所前	東

●出御 7月22日(金) 午前6時00分 八雲神社出発
 ●渡御 7月23日(土) 午前6時30分 御仮殿出発
 ●還御 7月24日(日) 午後5時25分 御仮殿出発
 ※開演予定時刻及び芸題等は、変更することがあります。

●ブンスキ 八雲神社鳥居前
 24日(日)午後5時45分頃
 各町屋台が一室に会し、笛・鉦・太鼓の打ち合いが行われます。



新宿から特別列車「烏山山あげ祭号」が運行!

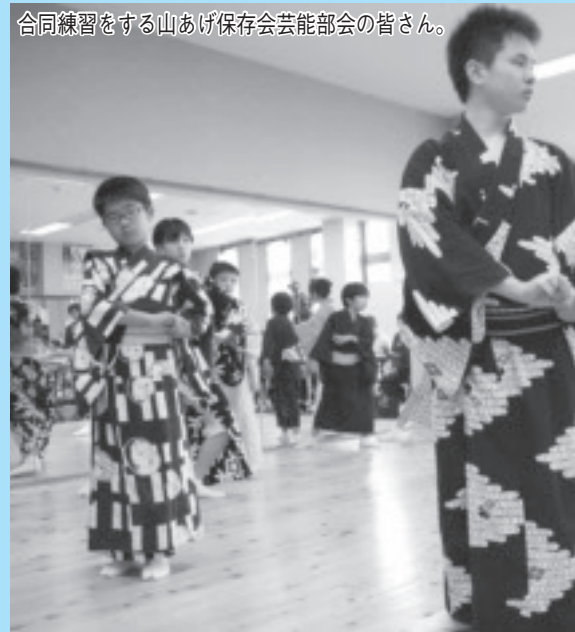
7月23日(土)・24日(日)、JR東日本により新宿駅から宝積寺駅まで快速列車「烏山山あげ祭号」が9年ぶりに運行されます。車両は、リゾットやまどり485系6両。宝積寺駅から烏山駅までは、臨時列車としてキハ40が3両編成でやってきます。

両日、烏山駅では、烏山和紙の原料「楮」の枝を使った手旗で到着した観光客を出迎えます。一日先着100名で旗を用意しますのでぜひ、ご参加ください。

■新宿発	8:57
■宝積寺着	11:00
■宝積寺発	11:10
■烏山着	11:41

■烏山発	16:38
■宝積寺着	17:22
■宝積寺発	17:45
■新宿着	19:51

合同練習をする山あげ保存会芸能部会の皆さん。



小・中学校・高校で

運動会／体育祭盛んに

市内の各小・中学校、高校で運動会や体育祭が開かれました。5月28日(土)には、南那須中と烏山中。6月4日(土)には、江川小、烏山小、境小で行われました。また、烏山高校では、初となる体育祭が6月9日(木)に開かれ、あいにくの天候に見舞われながらも白熱した戦いが繰り広げられました。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫

①②烏山小 ③④境小 ⑤⑥江川小 ⑦⑧烏山中 ⑨⑩南那須中 ⑪⑫烏山高校。

児童たちに思いやりの心を

七合小で「人権の花」贈呈式

5月31日(火)、七合小学校で「人権の花」が贈呈されました。これを大切に育てていきたいと話していました。

小学生が上下水道施設を見学

身近な水の大切さ学ぶ

市内の小学4年生が社会科見学の 일환で城東浄水場や烏山水

処理センターを見学し、身近な水の大切さと重要さを学びました。



懸命にメモを取る境小の子どもたち。



水処理センターを見学する七合小の子どもたち。

5月25日(木)には江川小で28人、6月22日(木)には境小で14人、28日(木)には烏山小で37人、29日(木)には七合小で36人の児童が市内の水道施設を訪れました。

見学では、市職員に説明を受けながら、きれいで安全な水をつくり、各家庭まで送る仕組みや、使われた水を集め、再びきれいに川に戻す仕組みなどを学びました。また、見たことのない機械装置や設備に児童は興味津々。一生懸命にメモを取る姿が見られました。

空手道・五十嵐未来選手 関東大会へ出場

白聖会空手道スポーツ少年団に所属する七合小4年の五十嵐未来選手(大桶)が、「第12回栃木県スポーツ少年団空手道交流大



五十嵐選手。

会」の4年生女子組手の部で優勝し、7月29日(金)から31日(日)にかけて小山市の県南体育館で開催される「第35回関東ブロック競技別交流大会」に出場します。

同少年団からの出場は初めて。関東大会では、県大会で優勝した4・5・6年生で一つのチームを作り団体戦に挑みます。五十嵐選手は、「勝つて5・6年生に良い流れでバトンを渡せるように頑

張りたい」と話していました。

また、6月19日(日)には、「第35回栃木県ジュニアオープン空手道選手権大会(組手のみ)」が行われ、五十嵐選手が小学3・4年生女子の部で優勝しました。そのほか、同少年団から、小学2年生男子の部で五十嵐大夢選手(七合小2年・大桶)が準優勝、中学生女子の部で生魚瑠那選手(烏山中3年・横枕)が3位という成績を残しました。

烏山小で移動音楽鑑賞教室

6月16日(木)、烏山小学校で同校児童を対象に県移動音楽鑑賞教室(県・



和太鼓と手拍子で盛り上がりを見せた会場。

市教育委員会主催)が開かれました。

これは、優れた音楽を鑑賞し、芸術に触れてもらおうと行っているもので、当日は、名古屋を拠点に活動するグループ「GONNA」が和太鼓とマリンバをメインに、「地平」、「アニメドレー」などを約1時間にわたって演奏しました。演奏の合間には、児童たちが手拍子とともに歌を歌ったり、和太鼓を叩く体験をしたりするなど、全身で音楽に触れる姿が見られました。

和太鼓の体験をした児童からは、「初めての経験でしたが、とても楽しかったです」という声が聞かれました。

は、花を育てることで、命の大切さを感じ、豊かな心を育んでもらおうと、毎年市内の小学校で行われているものです。

当日、同小学校のグラウンドで行われた贈呈式には全校児童と人権擁護委員3人が出席。代表の児童3人に対し、「ニチニチソウ」、「ペゴニア」などの花の苗が、それぞれ同委員から手渡されました。

児童を代表して、6年の関谷実鈴さんは「いただいた花の苗



人権の花を受け取る児童。

興野と熊田でじゃがいも祭を開催

6月5日(日)、興野農産物直売所で「新じゃがいも祭」が開かれ、市内外から家族連れなどたくさんの方が訪れ、にぎわいを見せました。

毎年恒例となったこの行事の目玉は直売所に隣接する畑



巨大なじゃがいもをバケツいっぱい(興野)。

での「じゃがいも掘り」。今年は開始の1時間半も前から並ぶ人も見られました。参加者たちはバケツから溢れんばかりの新じゃがを収穫し、満足気な表情を浮かべていました。ほかに、新じゃがで作った



じゃがいも掘りでにぎわう農園(熊田)。

た肉じゃがの無料サービス、新鮮な野菜や加工品、つきたて餅の販売などが行われ、こちらも好評を博していました。

6月12日(日)には、自然と仲良くする会(久宮敏夫会長)による「じゃがいも祭り」が、同会が管理する熊田の農園で開かれ、大勢の地域住民が訪れました。

メインのじゃがいも掘りのほか、本格的な窯を使ったピザ作り体験や鳥の巣箱作り体験など盛りだくさんのイベントで参加者を楽しませました。

また、地元野菜や米の直売、そして、じゃがバターや豚汁、おにぎりが無料で振る舞われ、その美味しさに参加者は舌鼓を打っていました。

ほたるイベント続々。

おおぎすホタルのタベ

6月11日(日)、大木須のオオムラサキ公園で一般社団法人大木須里山を愛する会(堀江一慰代表理事)による第12回「ホタルのタベ」が開かれ、里山のほたるを一目見ようと市内外から約500人が訪れました。

栃木県環境カウンセラー協会やメダカ里親の会の会員を招き、横枕の水生生物や動植物などを採集し、観察を行いました。また、特設ステージでは、宇都宮市の西原こどもお囃子会による演奏会や尺八吹奏家の福田大輔さんによる尺八の演奏などが行われ、会場を盛り上

0人が参加しました。

当日は、栃木県環境カウンセラー協会の塩山房男さんを講師に招き、集会所付近の水路で魚や虫などを採取。集会所に戻り、採取した生き物の解説やほたるの生態について紹介されました。子どもたちは、様々な生き物に興味津々。真



バラの香りが漂う根本さん宅の庭。

横枕の根本健さん宅のバラが6月初旬頃に見頃を迎え、5月

横枕の根本健さん宅でオープンガーデン バラ300本が美しく咲く

27日(金)から29日(日)、6月3日(金)から5日(日)の期間、4年目となるオープンガーデンを開き多くの地域住民が訪れました。

530平方メートルの敷地には、つるバラやイングリッシュローズなど300本以上のバラのほか、クレマチスなど様々な花が咲き誇り、多くの見物客の目を楽しませました。

根本さんは、「また来年も大勢の人に楽しんでもらえるように頑張りたい」と話していました。

▶たくさんとれたよ!
▼アジサイ満開。



まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計グループ ☎0287-83-1112

会場に設けられたステージでは、今回初出演となる「WARRA」に



陽気な音楽が流れる会場(大木須)。

よる南米の音楽「フォルクローレ」のコンサートが行われ、観客たちは、地域のスタッフが手作りのピザやじゃがバターなどを囲みながら陽気な音楽を楽しみました。

ほたるの鑑賞会では、会場から徒歩で約15分ほどの場所に移動し、里山に現れたたくさんのほたるを目に焼き付けました。

また、同会では、5月28日(土)から7月2日(土)にかけて、恒例のほたる案内所を同公園に設置し、訪れた約500人の見物人を案内しました。

横枕ほたる祭り

横枕青年団(澤村佳奈横枕ほたる祭り実行委員長)では、6月11日(土)、横枕伝承センター周辺を会場に、第7回「横枕ほたる祭り」を開き、親子連れ約400人が参加しました。

恒例となった「自然観察会」には、

げました。

18日(土)には、「ほたるカフェ」をオープンし、訪れた人々に手作りのケーキなどが振る舞われ、幻想的なほたるの光とティータイムを楽しむ姿が見られました。

興野で「ほたる鑑賞会」

6月12日(日)、興野集会所付近で、興野ほたるの里づくり環境保全会(岡光一会長)による「ほたる鑑賞会」が開かれ、親子連れなど約12



塩山さんによる生き物の解説(興野)。



生き物探しに夢中の子どもたち(横枕)。

剣な様子で塩山さんの解説に耳を傾けていました。

その後、日が暮れると、再び近所の水路を散策。暗闇の中に光るほたるを見つけると、子どもたちは嬉しそうに見入っていました。

ほかに、今年初めてマジックショーを行うなど、多くの催しで子どもから大人まで楽しめました。

小堀でほたる観察会

荒川南部地域保全会(阿久津忠



ほたるに見入る参加者(猿久保田んぼ公園)。

一会長)では、6月18日(土)、小堀の猿久保田んぼ公園で「ほたる観察会」を開き、地域住民など75人が参加しました。

参加者たちは、公園の入口で「ゲンジボタル」と「ヘイケボタル」の違いなどほたるの生態について解説を聞いた後、観察に出発。公園内ではあちこちからほたるが現れ、参加した子どもからお年寄りまで、暗闇の中に光る美しい緑色の光に感嘆の声をあげていました。

猿久保田んぼ公園で生きもの調査

荒川南部地域保全会(阿久津忠一会長)では、6月19日(日)、同会が



水路で見つけた生き物を観察する参加者。

環境保全活動を行う小堀の猿久保田んぼ公園で、「生きもの調査」を開きました。

当日は、親子連れ35人が参加し、栃木県環境カウンセラー協会の塩山房男さんを講師に、水路や田んぼに生息する生き物を探しました。水辺には、トンボのヤゴやカエル、ドジョウ、サワガニ、カワムツなど、きれいな水にしか生息しない生き物を発見しました。子どもたちは、泥だらけになりながらも夢中で生き物を採集していました。

横枕出逢い創造プロジェクト7組のカップルが成立

横枕青年団(曾根駿介横枕出逢い創造プロジェクト実行委員長)による、「横枕出逢い創出プロジェクト」が、6月18日(土)、横枕伝承セン

ターで開かれ、男女29人から7組のカップルが成立しました。

これは、出逢いのきっかけをつくらうと、那須烏山市結婚相談所と共催で昨年からはじまったものです。

当日は、それぞれの自己紹介に続き、バーベキューで交流を深めた参加者たち。途中には、よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属のお笑い芸人「上原チョー」、「ヨッシャ比留間」、「チョッキ」が応援隊として参加し、お笑いライブなどで盛り上げました。



わきあいあいと進められた交流会。

おめでた★

赤ちゃん名 (保護者) 住所
 齋藤翔太 (誠・愛美) 野上
 高野凱世 (智之・悠) 興野
 高野樹 (章・梓) 東原
 田代匠 (正典・優子) 上川井
 佐藤楓人 (崇幸・つかさ) 野上
 神山ほまれ (拓実・左重恵) 南大和久
 ※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果★

●第5回那須烏山警察署長・交通安全協会長杯グラウンド・ゴルフ大会 (5月19日付、緑地運動公園)
 【団体戦】▽優勝…大澤 G・G 愛好会▽準優勝…大木須 G・G 愛好会▽第3位…滝田本郷桜愛好会

【個人戦】▽優勝…水井守 (野上)▽準優勝…高徳宗光 (滝田、五味潤忠也 (大沢))

●春季男女混合市民バレーボール大会 (5月16日付)▽18日 (南那須中学校)

▽優勝…ポラリス▽準優勝…からくず▽第3位…ヨネックス

●第35回栃木県壮年ソフトボール大会南那須支部予選会 (5月12日付、13日 (緑地運動公園))

▽優勝…荒川南クラブ▽準優勝…藤田クラブ▽第3位…志鳥スワンズ、こぶし台

●春季婦人バレーボール大会 (6月6日付)▽7日 (南那須中学校体育館)

▽優勝…四ツ葉▽準優勝…藤田▽第3位…かながクラブ

●第12回栃木県スポーツ少年団空手道交流大会 (6月5日付、栃木市西片総合体育館)

【4年生女子組手の部】▽優勝…五十嵐未来 (白壁会空手道スポーツ少年団)

【中学生女子組手の部】▽第3位…生魚瑠那 (白壁会空手道スポーツ少年団)

【中学生女子形の部】▽準優勝…田崎裕乃 (南那須空手道スポーツ少年団)

●第8回那須烏山支部ナイター野球大会 (5月14日付)▽28日 (緑地運動公園)

▽優勝…藤田クラブ▽準優勝…南大和久オールスターズ▽第3位…FTクラブ

だん ありがとう★

■ふるさと応援寄附金

・田村友宏様 (東京都大田区) から1万円が寄附されました。

・木村栄子様 (埼玉県さいたま市) から1万円が寄附されました。

・昭和60年度烏山小学校卒業記念実行委員会 高橋誠一委員長様から1万2262円が寄附されました。

・小林正信様 (東京都杉並区) から1万円が寄附されました。

・工務様 (全都宮市) から1万円が寄附されました。

・大久保ミツイ様 (東京都目黒区) から1万円が寄附されました。

・匿名希望者様24人から526万円が寄附されました。

おめでとう★

●人権擁護委員の表彰

▽栃木県人権擁護委員連合会長表彰…小林洋子

編集後記



○夏風邪を引きました…。原因は分かっているんです。窓を開けっ放しで、しかも、お腹を出して寝ていたから。喉の調子が悪く、声がガラガラなので取材先で「酒焼け？」なんて聞かれることもありましたが、風邪です！ (笑)
 ○梅雨もあつたのかなかったのか、これからもっと暑くなります。各地で続々と猛暑が記録されているように、今年は？今年も？記録的な猛暑になるらしいです。だからといってお腹を出して寝るのは、やめましょうね。風邪を引きますよ！ (笑)

○今月は「山あげ祭」です。祭の熱気も加わり、さらに暑くなりますので、暑さ対策を忘れずに！若衆のみなさんも熱中症には気をつけてください！私も気合いを入れて取材します！
 ○烏山市街地へのアクセス、非常に混雑が予想されます。気持ちに余裕を持ってぜひお越しくださいね！



Information

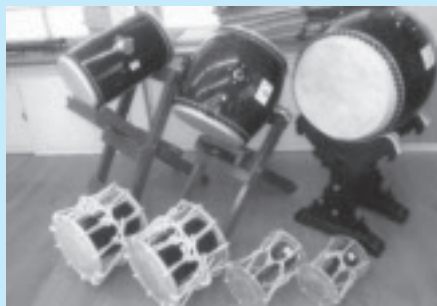
平成28年度

コミュニティ助成事業報告

財団法人自治総合センターの平成28年度コミュニティ助成事業(宝くじの助成)を活用し、泉町自治会では、お囃子太鼓や盆踊り太鼓を新調しました。

今年の山あげ祭では新しい太鼓でのお囃子が聴けそうです。

■まちづくり課 ☎0287-83-1151



新調した太鼓。





2016.6.1現在
()対前月比

人口 26,683(-26)

男 13,216 女 13,467

出生 4 死亡 36

転入 65 転出 59

世帯数 9,467

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

★一般図書★

『すぐそばにある！関東の絶景』
『10年後に失敗しない未来予想図』

森永 卓郎

『孫子の兵法』 飯島 勲
『すくって楽しい！スコップレシビ』

田村 つばみ

『老いも病も受け入れよう』瀬戸内 寂聴
『PTAグランパ！』中澤 日菜子
『掟上今日子の婚姻届』西尾 維新
『いのち買ってくれ』好村 兼一

★児童図書★

『ざんねんないきもの事典』今泉 忠明
『めざせ鉄道博士！日本全国鉄道路線地図』

地理情報開発

『下からよんでもきつねつき』石井 信彦
『魔女バジルと黒い魔法』茂市 久美子
『ともだちどれだ？』新井 洋行

『コケッコーさんとこいぬのトミー』
かろくこうぼう

『みずたまり』 殿内 真帆
『「パパ」はどうしてパパなの？』

すずき えいけい

『つばめこうくう』もとやす けいじ

★CD★

『BEST OF THE THREE
VIOLINISTS』 葉加瀬 太郎 他

『あの日あの時』 小田 和正

『K P P』 きゃりーぱみゅぱみゅ

『ファンが選んだベストアルバム』山内 恵介

『胎教モーツァルト』マイケル・トンプソ 他
『デンジャラス ウーマン』

アリアナ・グランデ

『当代の名人大結集』古今亭 菊之 他

『みんなだいすきキャラクターソング・
ベスト』 山野 さと 他

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報統計グループ
(〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

すがすがしき風青空に光れども血圧不調にべ
は晴れず 川手 トヨ(金井)
赤いトマトの実りを心にだきしめてあの手こ
の手と一人屋根を張る 平野フミ子(向田)
霧にうるむ外灯の下の青春がよみがえる街静
かに眠る 吉澤 紅月(南)
バイバイと帰る娘と孫見送れば夫婦の暮らし
にまた戻りおり 矢口 玄鳥(大金)

短歌

福澤 悦子 選

身の程を知らぬ甘さの若い頃 小針 久子(月次)
小口 格男(興野)
親の夢子には子の夢持っている 石川 義郎(興野)
菜園の雑草だけが倍も伸び 森 豊(中山)
初陣の教師生徒に励まされ 篠崎 酔月 選

川柳

いきいきとわが七十路の夏立てり 川俣 登志子(旭)
風薫る川の辺の巴人句碑 伊東 澄子(中央)
足音に泥鰌おののく青田かな 高野 良子(下川井)
バーベナの花の緋の色恋の色 齋藤 穂 選

俳句

文芸コーナー★

昨年度は無料補講を657時間実施！！

歩-Ayumi-塾

☆入塾金0円！今なら中1生、最初の月の授業料半額！

☆各学年には定員がございますのでお急ぎ下さい

※中3生は定員になっております。ご了承下さい

詳しくは…www.ayumi19.net

☎090-5423-4499(代表者:佐藤 諒)

那須烏山市大金186 足利銀行さんのすぐ後ろ

安心と信頼いつまでも！

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

◇損害保険:GKくるま、GKすまい、企業総合賠償

◇生命保険:総合収入保障、ガン保険、年金、介護

■問合 〒321-0526 那須烏山市田野倉383

☎ 0287-88-9870

FAX 0287-88-0234

シリーズ

鳥山高校ってどんなところ！

部活動を知ろう編④

茶華道部

広報「なすからすやま」では、鳥山高校の部活動で頑張る生徒を紹介します！



「礼儀」「作法」「おもてなし」を極める茶華道部。顧問の佐野昭子先生、外部講師の白相久子先生の指導のもと19人の部員で週1回活動しています。日頃から、おて前の際の水の音やお茶の香りを感じとることを大切にしていくという部員たち。茶道は「裏千家」、華道は「小原流」です。

毎年、鳥山高校の文化祭「鳥翔祭」ではお茶席を設け、部員がたてたお茶を振る舞っています。今年は、山あげ祭最終日となる7月24日(日)には、初めての試みとなる「お茶会」を商工会の2階で開きます。この機会に茶道の雰囲気を感じてみてはいかがでしょうか。



3年(中山)
堀江美翼 部長

山あげ祭期間中に開催するお茶会では、皆さんが気軽にお茶を楽しむように椅子に座っての茶会を企画しています。たくさんの方に私たちがたてたお茶を楽しんで欲しいので、ぜひお立ち寄りください。



大木須(6月9日撮影)。

幻想的な“光”無数に輝く ほたるが見頃迎える

6月上旬から下旬にかけて、「ほたる」が見頃を迎え、各地の鑑賞スポットでは見物人やカメラマンでにぎわいました。

今年は、例年よりもほたるの出現が1週間ほど早かったそうです。幻想的な光を放つほたる。また来年が楽しみです。

つくし幼稚園の園児 さくらんぼ狩りに笑顔

下旬にかけて「モモ狩り」も楽しめます。



さくらんぼに目を輝かせる園児たち。